

カジノより いのちが先でしょ!

こんなときにカジノ誘致を決めるの?!

大阪のコロナ感染による死者数・感染状況が全国最悪。吉村知事は「医療非常事態」を宣言しました。何よりいのちと暮らしを守るときなのに3月の府議会・大阪市会で「カジノ誘致」を決定しようとしています。カジノよりコロナ対策が先です!



なぜ? こんなことに?

保健所・医療関係者の必死の努力にもかかわらずパンク状態です。大阪市では「コロナ感染者の情報入力」の遅れが延べ2万件以上も発生し感染者対応に悪影響が出ています。

❖ コロナ対策は軽視 ❖

保健所の体制強化せず、病床削減
大阪府はPCR検査拡大の予算を増やさず

(2020年度)

コロナ禍で大阪府が急性期病床を229床削減

高槻赤十字病院(高槻市).....	45床
大阪府済生会富田林病院(富田林市).....	40床
道仁会道仁病院(寝屋川市).....	7床
淳康会堺近森病院(堺市).....	12床
医真会八尾リハビリテーション病院(八尾市).....	60床*
愛和会新世病院(枚方市).....	16床*
敬任会南河内おか病院(河内長野市).....	28床*
尽生会聖和病院(大阪市).....	21床*

※は回復期病床に転換

2020年度コロナ対策支出 大阪府**22**億円だけ

大阪府コロナ対策予算	約 1兆1,750 億円
そのうち独自予算	約 22 億円 (0.2%)

保健師数 全国ワースト**2**位

大阪府 **27.7**人 全国平均 **44.1**人

人口10万人当たりの保健師数は全国でワースト2位の大阪、「長野県」82.6人の3分の1です。 ※厚労省「衛生行政報告例」2020年末の保健師数より

「カジノには一切税金は使わない」
カジノ業者言いなりで
790億円も公金投入

「カジノには一切税金は使わない」(松井市長)と言っていたのに、カジノ用地(夢洲)の土壌汚染・液状化対策に大阪市が790億円も支出しようとしています。大阪市の契約でこんな前例はありません。カジノ業者への「特別待遇」です。

❖ カジノ優先・夢洲開発 ❖

どんどん膨らむ公金投入

カジノ誘致計画には問題がいっぱい(2面に紹介)。その一つが松井市長の公約違反!カジノ誘致に市民の血税が投入され、しかも、さらに増える可能性があり市民負担は青天井です。

膨らむ夢洲インフラ整備費用

カジノIR予定地の液状化・ 土壌汚染対策など	+790 億円
万博跡地の液状化・ 土壌汚染対策など	+788 億円
淀川左岸線 土壌汚染対策など	+756 億円
万博会場大屋根建設など	+600 億円
大阪メトロ延伸の 地中障害物撤去など	+96 億円
夢洲駅増強や 周辺道路の拡幅	+33 億円
夢洲駅の改札前広場や 階段の整備	+30 億円

合計約**3,100**億円

